



いすじろう通信

2022年度

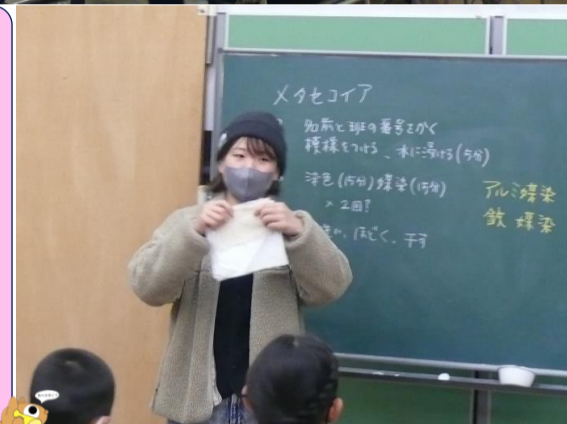
「第6回」JVR養成講座」号

ようこそ！ 栗東自然観察の森へ 第6回JVR養成講座「草木染め」の様子を紹介します。



活動前の打合せ：講座内容と安全管理確認

草木染めを指導いただく講師の方は、ご自身もJVR養成講座の卒業生でいらっしゃる、染色アーティストの林優里先生です。林先生はJVRサポーターズでもあります。今年も講座のために時間を頂戴いただき大変ありがとうございます。では、ご指導の程、よろしくお願いいたします♡



熱心に、林先生のお話を聞く講座生です♡

工程① 染液づくり



今年の染材は、「メタセコイアの球果」を選んでいただきました。どのような色に染まるかな？

色の抽出時間と染色時間を確認されています。

工程② 模様入れ



染める布は、木綿のバンダナです。林先生が準備された資料を参考に、自分の手で布に模様を入れていきます♡昨年までに、草木染めを体験されている講座生は、黙々と作業を進めていきます。みなさん、全集中といったところです♡

模様に入れ方は、布にビー玉などを入れて紐で縛ったり、形あるものを布に強く当てて固定します。すると、染色後に染液が染み込むところとそうでない場所に色の濃淡がでて模様が布に浮かぶのです。サポーターの皆さまには、目配りだけでなく、欠席された講座生の布に模様入れもお手伝いいただいています♡

工程③ 前処理 / 工程④ 染色



布の素材と染液の種類によって、布を染液に漬ける時間や染液の温度を管理する必要があります。これまでは、夏に草木染めを行っていましたが、今回も、湿度も外気温も低い冬の活動となりました。
草木がその体に宿した「色」を布に移します。自然の素材を生かすには、体験すること、そして自然を知ること大切な作業になります。

森を散策 今年のテーマは・・・? 「森の大切さを知る」です! 布が染まるまでの時間を利用してしゅっぱ〜つ♡



散策路を外れると、危険を伴います。リスクとハザードをしっかりと考えてください。

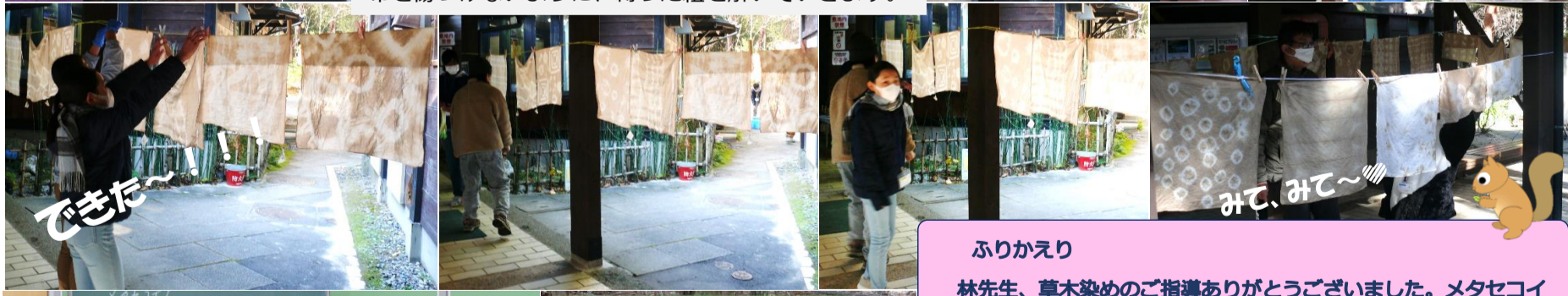
工程⑤ 媒染 / 工程⑥ 水洗い・乾燥



媒染は「布」と「染材」をしっかりくっつけるための作業になります。今回も媒染液は「アルミ」と「鉄」を準備いただきました。この媒染液は、どちらを使用するかで仕上がりの布の色が変わります。もちろん、同じ一枚の布で別々の媒染液を利用することができますが、仕上がりの見本を参考に、どちらか一方を決めてください。
最後に、媒染が終わった布を水洗いして、縛った紐を解いていきます♡



布を傷つけないように、縛った紐を解いていきます。



第7回JVR養成講座の予告
ふりかえり
林先生、草木染めのご指導ありがとうございました。メタセコイアの球果さんにも感謝の気持ちを述べさせていただきます。ありがとうございます♡ ちなみにメタセコイアの球果を選んだ理由は、同じく染材として利用する「ヤシャブシの球果」に姿が似ているので挑戦されたそうです。
JVRサポーターズの皆さまにも、事前準備並びに当日の染液づくり並びに、講座生への目配りと指導について大変、ありがとうございました。では、次回の講座をお楽しみに♡